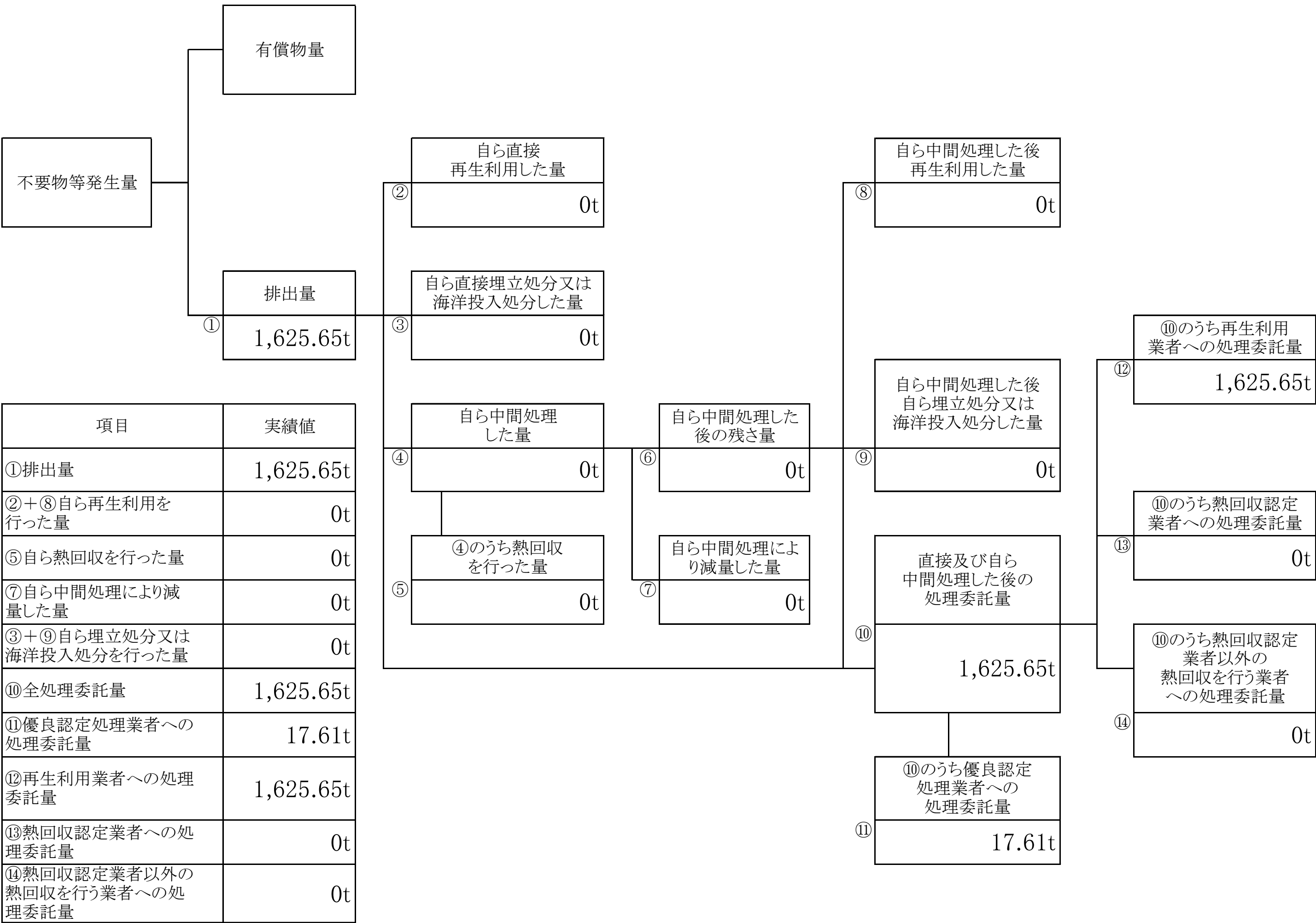


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 7年 4月 18日			
群馬県知事 殿			
提出者 〒376-0141			
住 所 群馬県桐生市黒保根町水沼乙53番地			
氏 名 株式会社 山藤組			
代表取締役 山藤 浩一			
電話番号 0277-96-2511			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社 山藤組		
事業場の所在地	群馬県桐生市黒保根町水沼乙53番地		
事業の種類	総合工事業		
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和 6月 4月 1日～令和 7年 3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,012t	全処理委託量	2,012t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処理委託量	19t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処理委託量	2,012t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への 処理委託量	0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t
※事務処理欄			

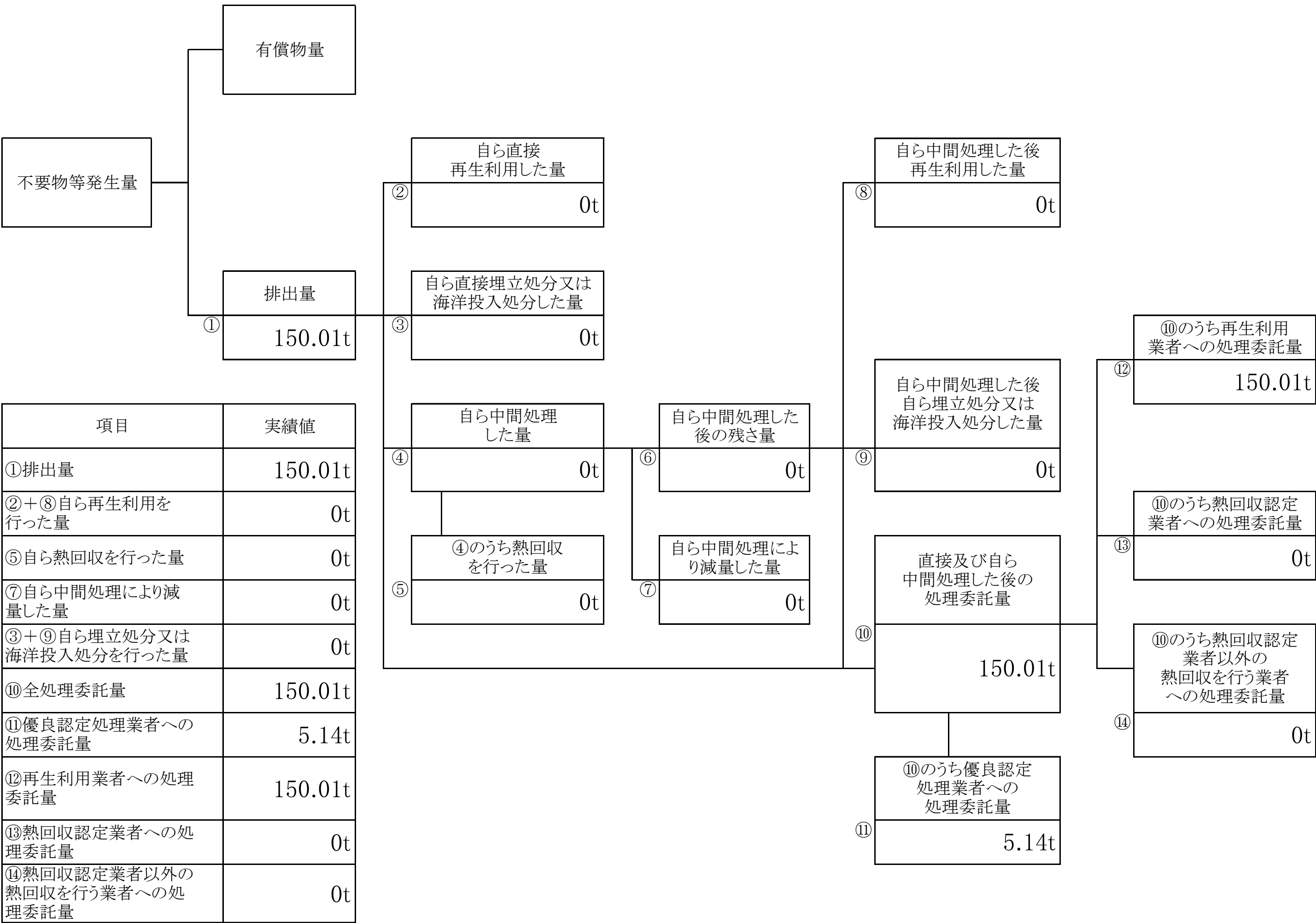
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類)



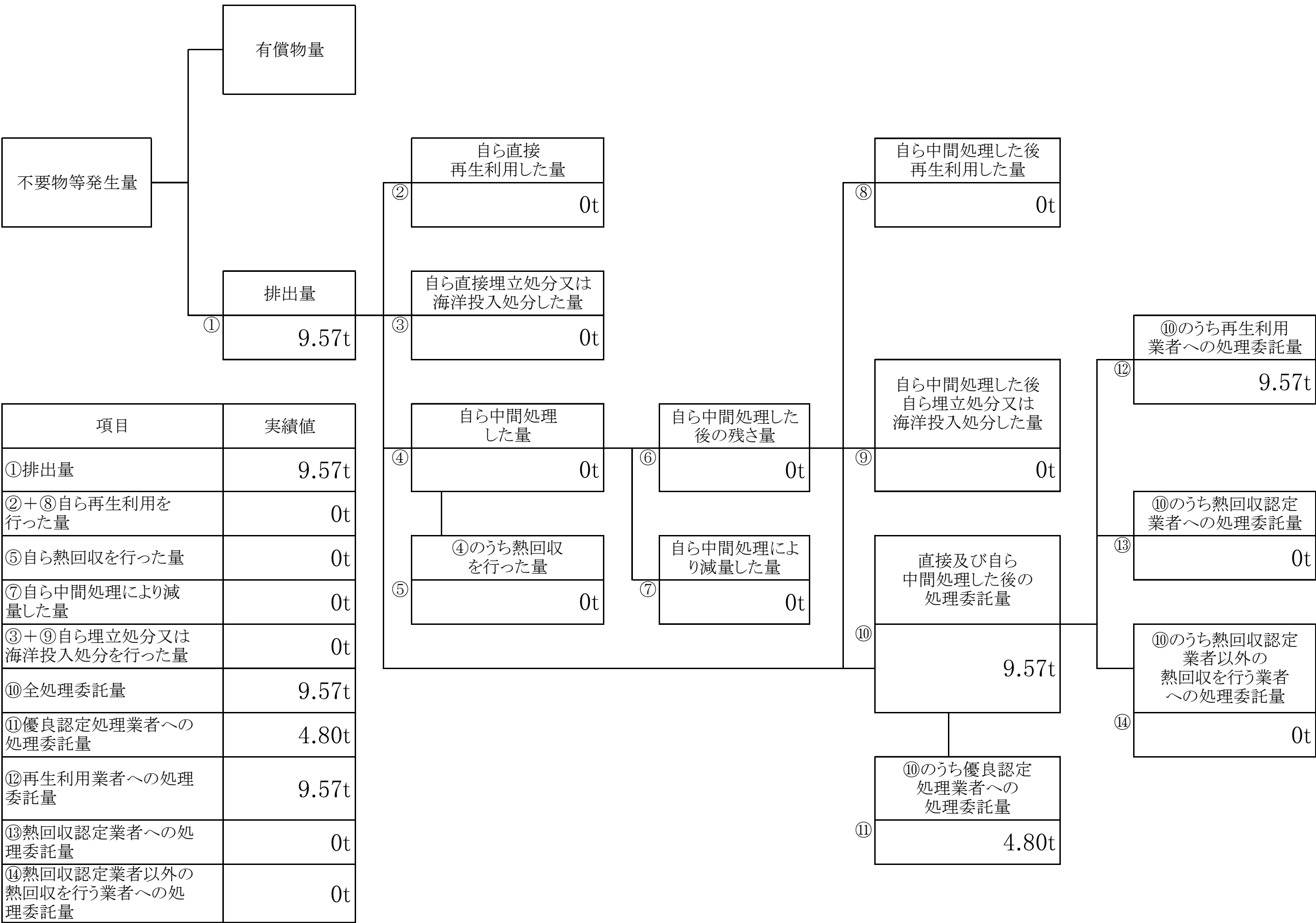
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)



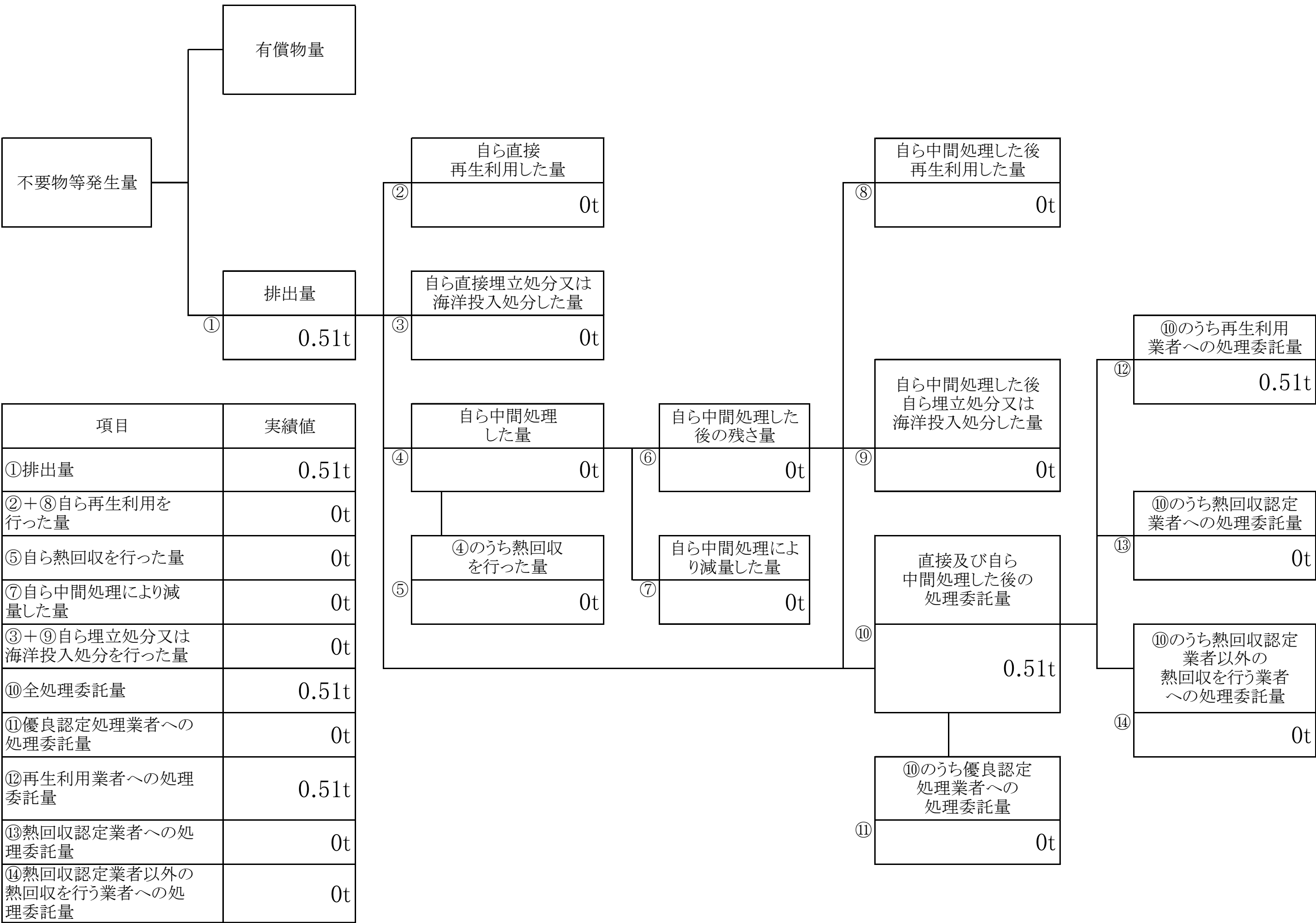
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



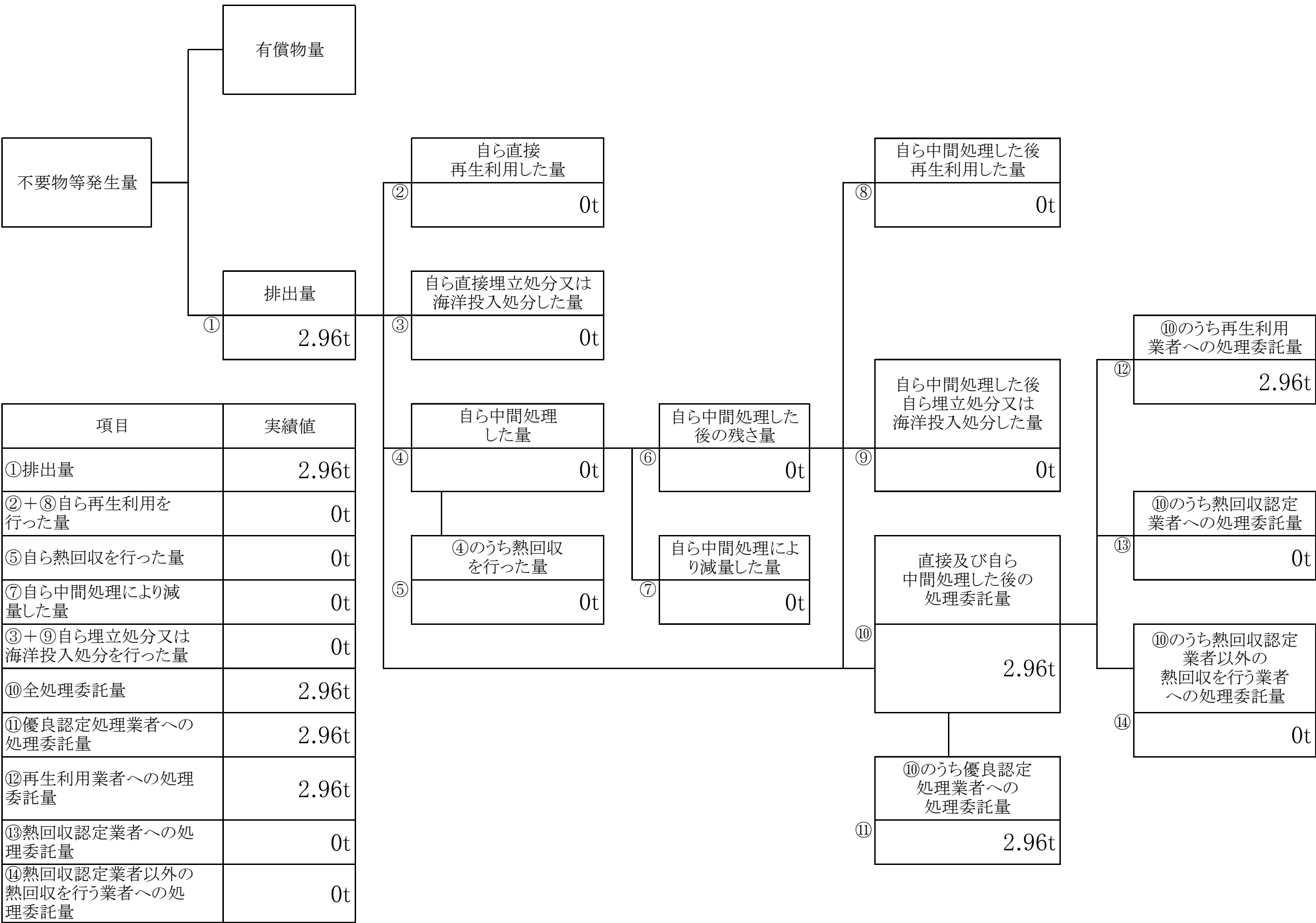
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)



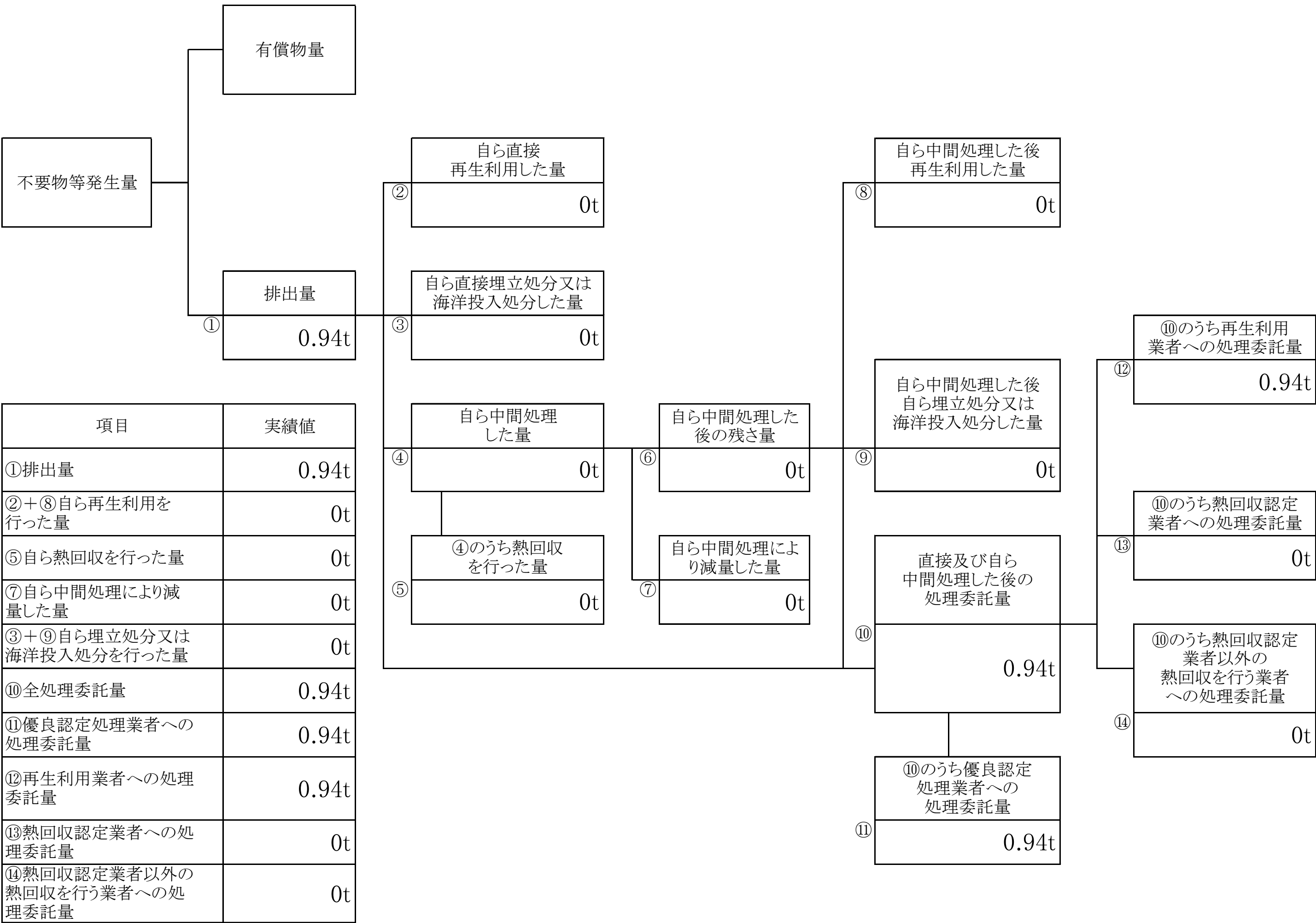
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：紙くず)



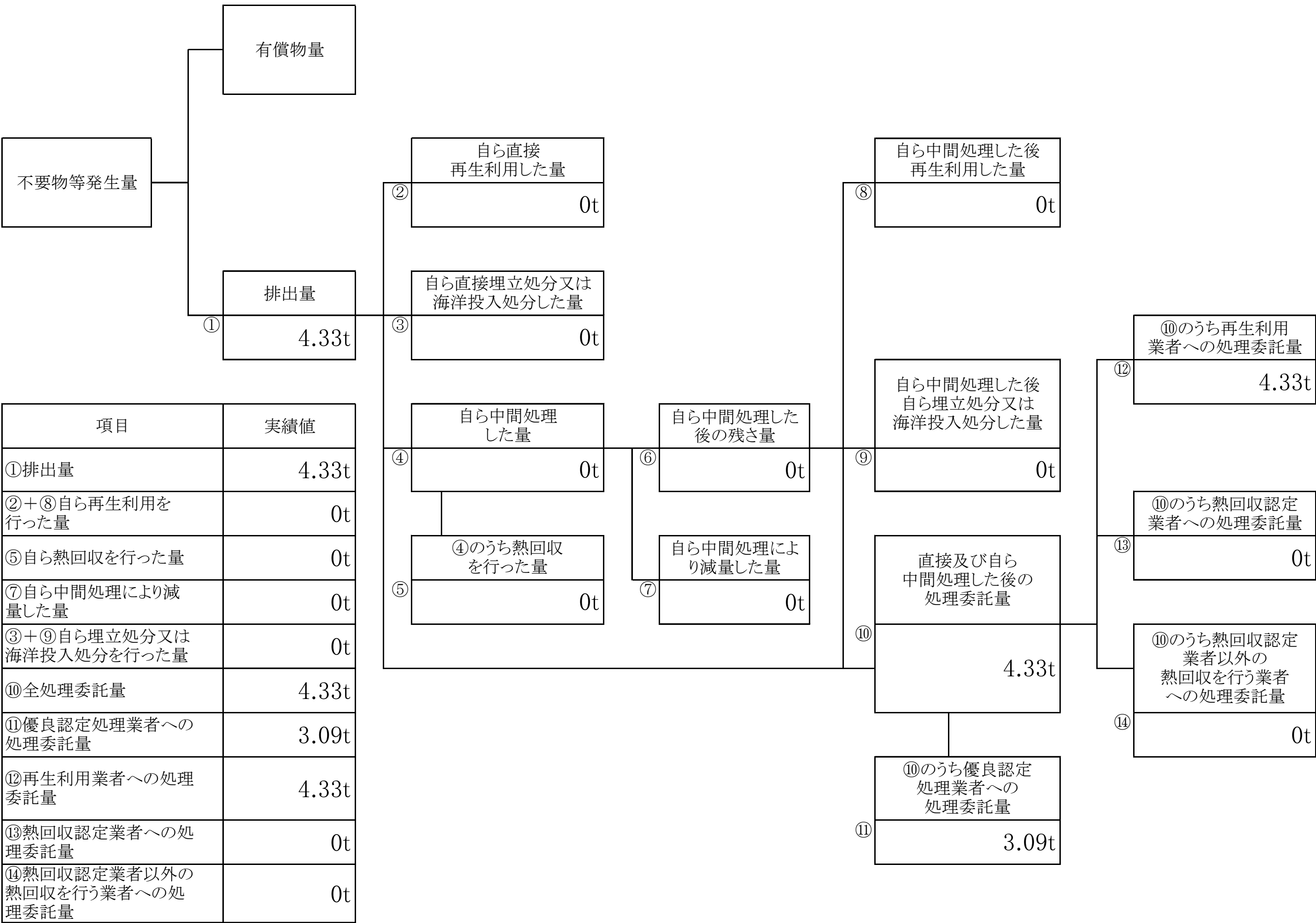
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)





備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

### 【前年度(令和 6 年度)実績】

#### ①現状

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ
排出量(t)	1,625.65	150.01	9.57

産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	汚泥
排出量(t)	4.33	2.96	0.51

産業廃棄物の種類	ガラス・陶器くず
排出量(t)	0.94

(これまでに実施した取組)

最近は、受注工事のうち舗装補修工事、法面工事の占める割合が非常に高く、それによりアスファルトがら、金属くずのような廃棄物の量が増加傾向にあります。最近は、設計でもリサイクル品の使用が普通になっていますが、当社としても可能な限りリサイクル品を使用するとともに現場には、ボックスを配置して分別に努め、再資源化の促進を図るよう努めています。

### 【目 標】

#### ②計画

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ
排出量	1,600	500	10

産業廃棄物の種類	金属くず	紙くず	
排出量	1	1	

(今後実施する予定の取組)

現状の取り組みを継続しつつ、全社員の廃棄物削減の意識の向上を図り、また廃棄物の発生要因を検証して、更に廃棄物削減を目指します。

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和 6 年度)実績】 (t)

### ①現状

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	金属くず	紙くず	汚泥	ガラス・陶器くず
全処理委託量	1,625.65	150.01	9.57	4.33	2.96	0.51	0.94
優良認定処理業者への 処理委託料	17.61	5.14	4.80	3.09	2.96	0.00	0.94
再生処理業者への 処理委託量	1,625.65	150.01	9.57	4.33	2.96	0.51	0.94
認定熱回収業者への 処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(これまでに実施した取組)

業者の処理能力、実績等調査の上決定し、委託契約を締結します。リサイクル出来るコンクリートがら、アスファルトがら、木くず、金属くず等は、リサイクル業者に委託しています。

【目標】 (t)

### ②計画

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	金属くず	紙くず	
全処理委託量	1,600.00	500.00	10.00	1.00	1.00	
優良認定処理業者への 処理委託料	10.00	5.00	3.00	0.50	0.50	
再生処理業者への 処理委託量	1,600.00	500.00	10.00	1.00	1.00	
認定熱回収業者への 処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(今後実施する予定の取組)

現状の取り組みを継続します。信頼できる業者の選定とマニフェストの管理を正確に実行するよう努めます。